平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月12日

上場会社名　株式会社 ゴルフ・ドゥ　　上場取引所　名
コード番号　3032　URL　http://www.golfdo.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 伊東　龍也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長　(氏名) 大井　康生　TEL 048-851-3111

四半期報告書提出予定日　平成23年8月15日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	992	16.7	18	12.5	17	30.8	13	―
23年3月期第1四半期	850	―	16	―	13	―	△10	―

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　11百万円　(―%)　23年3月期第1四半期　△10百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	1,118.74	―
23年3月期第1四半期	△869.27	―

当社グループは、平成22年3月期第1四半期連結財務諸表を作成していないため、平成23年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	2,035	387	19.0	31,277.49
23年3月期	2,159	375	17.4	30,314.98

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　387百万円　23年3月期　375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,000	14.5	30	―	25	―	20	―	1,616.29
通期	4,150	5.5	50	―	40	―	30	―	2,424.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	13,083 株	23年3月期	13,083 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	709 株	23年3月期	709 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	12,374 株	23年3月期1Q	12,374 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1)連結経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、３月11日に発生した東日本大震災や福島第一原発事故の影響により、製造業を中心に国内企業の生産や輸出が大幅に減少いたしました。また、震災の影響に伴う企業活動の低迷や消費マインドの悪化、そして電力供給の制約等により景気回復の先行きが見えない状況になっております。

ゴルフ業界におきましても、震災による景気悪化の影響を受け厳しい状況が続き、消費者の購買意欲は急速に減退することとなりました。しかしながら、プレー人口においては、ゴルフ場／練習場の入場者数前年同月比が平成23年６月では前年同月比96.4%／97.2%と震災による影響を受けながらも回復傾向が見られております（経済産業省「特定サービス産業動態調査」）。

このような経営環境のもと、当社グループでは前期より引き続き、事業全体の収益性向上を目指し、在庫の適正化等による粗利益率の改善及び経費削減に努めてまいりました結果、直営全店売上高が前年比85.9%となったものの、粗利益率は３ポイント上昇いたしました。

店舗につきましては、直営事業、フランチャイズ事業ともに新規出店はありません。また、フランチャイズ事業において２店舗の閉店があり、その結果、平成23年６月末日現在の営業店舗数は全国で合計75店舗となっております。

この結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高９億92百万円（前第１四半期連結累計期間８億50百万円）、営業利益18百万円（同16百万円）、四半期純利益13百万円（同△10百万円）となりました。

ゴルフ・ドゥ！店舗月次データ（売上高前年比）は以下のとおりであります

月	H23年４月	H23年５月	H23年６月	第1四半期合計
チェーン全店	82.9%	87.3%	92.5%	87.4%
チェーン既存店	82.1%	86.2%	91.4%	86.4%
直営全店	77.2%	86.5%	94.5%	85.9%
直営既存店	74.2%	82.6%	90.5%	82.3%
ＦＣ全店	85.2%	87.6%	91.7%	88.1%
ＦＣ既存店	85.1%	87.6%	91.7%	88.0%

なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

（直営事業）

当第１四半期連結累計期間においては、震災の影響でゴルフプレー自体の自粛ムードが首都圏を中心に拡がり、平成23年４月度の売上高前年比が77.2%と急減いたしました。しかしながら、前期より進めてまいりました在庫の適正化等により、粗利益率は前年比３ポイント改善しております。また、売上高も既存会員に対するＤＭやモバイル販促により徐々に回復傾向に転じており、平成23年６月度の売上高前年比は94.5%となりました。

その結果、直営事業の売上高は６億５百万円（前第１四半期連結累計期間７億円）となりました。また、セグメント利益は31百万円（同21百万円）となりました。

（フランチャイズ事業）

当第１四半期連結累計期間においては、震災の影響がない西日本までも自粛ムードが拡がり、スーパーバイザーによる販促指導等をきめ細かく行ってまいりましたが、売上回復には至らず、計画とおりのロイヤリティ収入の確保ができませんでした。また、６月には契約期間満了により成田店（千葉県）、大和高田店（奈良県）の２店舗が閉店いたしました。

その結果、フランチャイズ事業の売上高は１億15百万円（前第１四半期連結累計期間１億49百万円）となりました。また、セグメント利益は43百万円（同52百万円）となりました。

（営業販売事業）

当第１四半期連結累計期間においては、西日本エリアでは、売上高は計画対比90%台で推移しました。ただ、東日本エリアでは震災の影響が大きく、計画した売上高を大幅に割り込む結果となりました。

その結果、営業販売事業の売上高は２億71百万円となりました。また、セグメント損失は３百万円となりました。
なお、前第１四半期連結累計期間において売上及びセグメント利益は発生しておりません。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における総資産は20億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億24百万円減少いたしました。

流動資産は、13億39百万円となり前連結会計年度末に比べ１億５百万円の減少となりました。これは主に現預金が17百万円、売掛金が18百万円、たな卸資産が67百万円減少したことによるものです。

固定資産は、６億96百万円となり前連結会計年度末に比べ18百万円減少しました。これは主に減価償却によるものです。

（負債）

流動負債は、８億92百万円となり前連結会計年度末に比べ75百万円の減少となりました。これは主に買掛金が52百万円、短期借入金が22百万円減少したことによるものです。

固定負債は、７億56百万円となり前連結会計年度末に比べ60百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の返済によるものです。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は３億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益13百万円及び評価換算差額によるものです。

この結果、自己資本比率は19.01％（前連結会計年度末は17.37％）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当第１四半期連結累計期間における業績を踏まえ検討した結果、このたび平成24年３月期 第２四半期累計期間の業績予想を公表しております。本日（平成23年８月12日）公表の業績予想（第２四半期累計期間）に関するお知らせをご覧下さい。なお、平成23年５月13日決算発表時に公表いたしました平成24年３月期の通期業績見通しは、修正しておりません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	375,218	358,201
受取手形及び売掛金	209,977	191,130
商品及び製品	775,492	708,483
繰延税金資産	49,974	52,478
その他	36,683	31,761
貸倒引当金	△2,454	△2,346
流動資産合計	1,444,890	1,339,709
固定資産		
有形固定資産	233,642	227,461
無形固定資産		
のれん	74,275	69,906
その他	24,180	23,782
無形固定資産合計	98,455	93,688
投資その他の資産		
その他	399,016	391,066
貸倒引当金	△16,124	△16,124
投資その他の資産合計	382,892	374,942
固定資産合計	714,990	696,092
資産合計	2,159,880	2,035,801
負債の部		
流動負債		
買掛金	244,740	192,334
短期借入金	330,610	308,300
1年内返済予定の長期借入金	241,392	241,392
未払法人税等	10,599	5,367
賞与引当金	18,008	9,722
ポイント引当金	27,515	28,005
その他	94,934	107,364
流動負債合計	967,800	892,486
固定負債		
長期借入金	662,284	601,936
退職給付引当金	69,481	70,014
資産除去債務	26,862	27,000
その他	58,335	57,335
固定負債合計	816,962	756,287
負債合計	1,784,763	1,648,773

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,765	500,765
資本剰余金	177,817	177,817
利益剰余金	△268,954	△255,111
自己株式	△23,625	△23,625
株主資本合計	386,002	399,846
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,343	△3,520
為替換算調整勘定	△6,541	△9,298
その他の包括利益累計額合計	△10,885	△12,818
純資産合計	375,117	387,027
負債純資産合計	2,159,880	2,035,801

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	850,436	992,208
売上原価	516,923	650,517
売上総利益	333,513	341,691
販売費及び一般管理費	316,696	323,624
営業利益	16,817	18,066
営業外収益		
受取利息	869	868
受取手数料	932	633
為替差益	－	1,837
その他	966	990
営業外収益合計	2,769	4,329
営業外費用		
支払利息	3,486	4,478
その他	2,253	99
営業外費用合計	5,740	4,578
経常利益	13,846	17,817
特別損失		
店舗閉鎖損失	9,475	－
店舗閉鎖損失引当金繰入額	5,086	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,235	－
特別損失合計	21,797	－
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△7,951	17,817
法人税、住民税及び事業税	2,805	5,349
法人税等調整額	－	△1,375
法人税等	2,805	3,974
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△10,756	13,843
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△10,756	13,843

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△10,756	13,843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	－	823
為替換算調整勘定	－	△2,756
その他の包括利益合計	－	△1,933
四半期包括利益	△10,756	11,910
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,756	11,910

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年６月30日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	直営	フランチャイズ	合計
売上高			
外部顧客への売上高	700,659	149,777	850,436
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	700,659	149,777	850,436
セグメント利益	21,559	52,058	73,617

（注）営業販売事業は、第１四半期連結累計期間にて売上及びセグメント利益が生じていないため、記載を省略しております。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	73,617
全社費用（注）	△56,799
四半期連結損益計算書の営業利益	16,817

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

「営業販売」セグメントにおいて、スクエアツウ・ジャパン株式会社及びスクエアツウ・ジャパン株式会社の100％子会社The Golf Exchange Inc.を子会社化しました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第１四半期連結会計期間において87,079千円であります。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	直営	フランチャイズ	営業販売	合計
売上高				
外部顧客への売上高	605,219	115,338	271,650	992,208
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－
計	605,219	115,338	271,650	992,208
セグメント利益又は損失（△）	31,740	43,967	△3,493	72,214

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	72,214
のれんの償却額	△4,369
全社費用（注）	△49,779
四半期連結損益計算書の営業利益	18,066

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。